

科目名	ベーシックレッスン 1							年度	2025
英語科目名	Basic lesson 1							学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 ヴォーカリストコース 1年次	必/選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	小野正利・MARI・山路浩加・青木千春・平山雅月・早川咲・青野りえ	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン		
【科目の目的】 自分の身体の使い方を知り、安定した声を身につける。特定の声の種類と、その声を使用しているアーティストを把握し、ヴォーカルテクニックの基礎レッスンを通じて学んだ楽曲を発声の観点から分析する。ヴォーカリストとしての基礎力を養うために基礎レッスンを受け、音楽全般に関する基礎知識を身につける。ソロやバンドに合わせてトレーニングを実施し、様々なオーディションやコンテストに備え、進行方法を学び、実践する。									
【科目の概要】 この授業は、ボーカリストとして必要なスキルを総合的に習得するための授業です。一週間の時間割はテーマごとに細分化されており、「ボーカルレッスン1」「ボーカルレッスン2」「ボイストレーニング」「ボーカルアンサンブル」「コーラス」「楽器レッスン」「DTM」の7つに分かれます。※下記に記載されている授業テーマは、前期後期に共通する内容であり、別紙「ベーシックレッスン2」も同様である。※楽器レッスン「Guitar」「Piano」の内一つを選択する。									
【到達目標】 A. ボイスエクササイズを実践できる B. 発声のタイプとメカニズムを理解できる C. ステージ上の音量バランスを調整できる D. 3声のコーラスワークができる E. 発表会でベストパフォーマンスできる									
【授業の注意点】 この科目は開講曜日により担当教員が異なります。専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう				レベル1 要努力	
到達目標 A	ボイスエクササイズを実践でき、日常的に継続できる			ボイスエクササイズを実践できる				到達目標についてさらなる努力が必要	
到達目標 B	発声の基本的なメカニズムを理解でき、簡潔に説明できる			発声の基本的なメカニズムを理解できる				到達目標についてさらなる努力が必要	
到達目標 C	ステージ上の音量バランスを調整でき、細かい指示を出せる			ステージ上の音量バランスを調整できる				到達目標についてさらなる努力が必要	
到達目標 D	3声のコーラスワークができ、周りとのバランスを意識できる			3声のコーラスワークができる				到達目標についてさらなる努力が必要	
到達目標 E	発表会でベストパフォーマンスでき、次の目標を設定できる			発表会でベストパフォーマンスできる				到達目標についてさらなる努力が必要	
【教科書】 適時、講師より教材を配布する。									
【参考資料】 特になし									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ベーシックレッスン1			年度	2025
英語表記		Basic lesson 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	レベルチェック	レベルチェックパフォーマンス	1 パフォーマンス	ステージでベストパフォーマンスができる	3	
			2 批評	他の学生のパフォーマンスを批評できる		
			3 講師からの講評	自分の課題を発見できる		
2	ボーカルレッスン1①	自分の歌声について知る	1 声域チェック	自分の声域を把握できる	3	
			2 歌声の特徴	自分の声を録音し、声の特徴を把握できる		
			3 目標設定	ボーカリストとして目指す方向性の設定ができる		
3	ボーカルレッスン1②	歌う前のウォーミングアップ	1 リップロール/タンゴトリル	リップロールとタンゴトリルをスムーズにできる	3	
			2 ボルタメント	ボルタメントをスムーズにできる		
			3 ストレッチ	歌う前の適切なストレッチが出来る		
4	ボーカルレッスン1③	基本的な発声トレーニング	1 正しい姿勢と脱力	正しい姿勢と脱力ができる	3	
			2 ボイスエクササイズ	それぞれに適したボイスエクササイズを実践できる		
			3 継続	ボイスエクササイズを通して安定した発声ができる		
5	ボイストレーニング①	声帯について学ぶ	1 声帯の位置	声帯の位置について理解できる	3	
			2 声帯の筋肉	声帯の筋肉の種類について理解できる		
			3 ボーカルフライ	声帯の位置を実際に感じ取ることができる		
6	ボイストレーニング②	様々な発声のタイプについて学ぶ	1 発声のタイプ	ライトチェスト/ブル/フリップなどのタイプを理解できる	3	
			2 地声と裏声	地声と裏声の違いを理解できる		
			3 男女の音域	男女の音域の違いを理解できる		
7	ボイストレーニング③	様々な発声のメカニズムについて学ぶ	1 チェスト	チェストボイスのメカニズムを理解できる	3	
			2 ヘッド	ヘッドボイスのメカニズムを理解できる		
			3 ミックス	ミックスボイスのメカニズムを理解できる		
8	ボーカルアンサンブル①	課題曲練習	1 発声練習	発声練習によるウォームアップができる	3	
			2 課題曲理解	課題曲のメイン、コーラスラインを理解できる		
			3 講師指導	歌唱表現、リズムの意識などを理解できる		
9	ボーカルアンサンブル②	アンサンブル発表会のリハーサル	1 モニターバランス	モニターの音量と向きを調整できる	3	
			2 バンドの音量	ステージ上の楽器の音量バランスを調整できる		
			3 グルーヴ	生バンドのグルーヴを感じ取ることができる		
10	ボーカルアンサンブル③	アンサンブル発表会のパフォーマンス	1 パフォーマンス	学んだことをステージで実践できる	3	
			2 批評	他の学生のパフォーマンスを批評できる		
			3 講評	講師からの評価で新たな知見を得ることができる		
11	コーラス①	課題曲練習	1 聞き取り	周りのハーモニーを聴きながら自身のメロディーラインを聞き取れる	3	
			2 ハモリ	メロディーを聞き頭の中でハーモニーラインを鳴らすことができる		
			3 実演	グループでのコーラスワークができる		
12	コーラス②	コーラスワークについての理解を深める	1 表現	楽曲を理解し、オブリガードやウーアーをつけることができる	3	
			2 構築	声のブレンディングとハーモニーの構築ができる		
			3 ジャンル	ポップ、ジャズ、ゴスペルに触れそれぞれの表現を実践できる		
13	コーラス③	アンサンブルでのコーラスパフォーマンス	1 パフォーマンス	学んだことをステージで実践できる	3	
			2 批評	他の学生のパフォーマンスを批評できる		
			3 講評	講師からの評価で新たな知見を得ることができる		
14	発表会準備	発表会の準備をする	1 パフォーマンス指導	ステージパフォーマンスを改善できる	3	
			2 歌唱指導	歌唱について改善できる		
			3 オケ制作	使用するオケを制作、準備できる		
15	発表会	発表会を実施する	1 リハーサル	スムーズにリハーサルを進行できる	3	
			2 本番	本番でベストのパフォーマンスができる		
			3 講師からの講評	本番を振り返り、自分の課題を発見できる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等